金 岡 南 中

校報６月号　堺市立金岡南中学校
令和７年６月１日発行

学校教育目標
人間尊重の精神を基盤として
・学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する
・自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する

校長室から

先日の体育大会は、2 か月足らずという短い準備期間に加え、雨天順延というアクシデントに見舞われながらも、各学年、各クラスともに仲間たちと協力したり関わりあったりすることを大切にしながら準備を進めた結果、ご家族の前で素晴らしい競技、演技を披露することができました。会場に足を運んでいただいた 1000 人を超えるご家族からは、狭い会場を安全・安心かつ効率的に使用するため、駐輪場の利用や競技ごとの入替制などについて快くご協力を得られ、多くの方に気持ちよく観覧していただくことができました。ありがとうございました。

この体育大会の成功は、参加した生徒たちの努力に加えて、会場にいるご家族の皆さまの温かい協力も併せての成果であると感じております。ご家族をはじめ地域の皆さまに支えられている金岡南中学校の強みを改めて確認し、定冠詞付きの「ザ・金岡南中学校」の素晴らしさをこれからも各方面に伝えていきたいと思います。

間もなく梅雨時を迎えますが、最近では線状降水帯の出現など、この時期特有の急激な天候の悪化が目立っています。堺市では関係機関と協力して児童生徒の通学等の安全を確保することとしておりますが、異常気象による災害防止のために、出水や道路冠水その他の異常を確認した際には、それぞれの身を守る行動をとるとともに、必要に応じて警察・消防等への通報をお願いします。

校長室から　その２

６月 2 日から堺市全域で全員喫食制中学校給食が始まり、ほとんどの生徒が同じメニューの昼食を食べることになりました。

金岡南中学校でも配膳方法の検討や食物アレルギー等への対応など、様々な準備を重ね、安全・安心な給食の実施に向けて最善を尽くしてきたところです。

久し振りの給食となった２年生、３年生はもちろん、1 年生も給食センター方式による提供は初めてですから、味や雰囲気はどうでしょうか？

ご家庭においては、エプロン等の準備・洗濯や食物アレルギーへの対応など、美味しい給食の実施に向けて、今後もご理解とご協力をお願いします。

ある弁護士のこと

岡村勲さんという弁護士の名前を耳されたことはあるでしょうか。岡村弁護士は東京弁護士会会長、日弁連副会長などの要職を務めながら、著名な事件の弁護に携わった方ですが、顧問弁護士をしていた証券会社との取引で多額の負債を抱えた人物から逆恨みを受け、ある日突然、最愛の奥様を殺害されるという事件の当事者、被害者遺族になってしまわれました。その後、犯罪被害者とその家族があまりにも理不尽な扱いを受けていることに憤りを感じられたことをきっかけに、70 歳を過ぎてから、「全国犯罪被害者の会（あすの会）」を立ち上げ、日本の犯罪被害者に関する法制度の充実に大きな役割を果たされました。活動を始められた当時の我が国の刑事司法の世界は、「犯罪被害者は最良の証拠」と言われていた時代でしたが、岡村弁護士の熱意が多くの人々を動かし、「犯罪被害者基本法」をはじめ犯罪被害者のために数多くの法改正が実現しました。

犯罪被害者に関する法律の審議をする衆議院法務委員会に岡村弁護士が参考人招致され、意見を陳述する場に、私も居合せたことがあります。被害者の哀しみに思いを馳せてこなかったご自身の弁護士としての活動の過去を悔い、被害者の悲惨な状況を切々と語る岡村さんの声を聴いているうちに、私は涙が零れそうになり、あわてて委員会室の外に出ました。国会審議の場では政府側の人間は黒子に徹し、目立つ行動は厳に慎むようにと教えられていたからです。国会職員に私が泣く姿を見られたら、間違いなく叱られるとも思いました。そのとき、平静を装ってなんとか廊下に出た私の目に飛び込んできたのは、目を真っ赤にしている各省庁や国会の職員の姿でした。皆さん、岡村弁護士の話を聞いて涙を堪えきれなくなったのでした。当たり前だと思っていたことが間違っていたと素直に認め、それを周囲に伝えて世の中を変えようとする岡村弁護士の生き方が、多くの人々の心を揺さぶる場に立ち会えたことに今でも感謝しています。人間は何歳になっても生き方を変えられ、周囲の人々を巻き込んで成果を残せることを岡村弁護士から学びました。

岡村弁護士は今年 2 月に 95 歳で亡くなる直前まで「まだやらないといけないことがある。」と力強く情熱的に活動し、声を出せない弱い立場に置かれてきた犯罪被害者や遺族に寄り添い、揺るぎない信念をもって困難な法改正の道を切り拓いた、正しく、優しく、たくましい方でした。

沖縄

80 年前の 6 月、沖縄は日米両軍が総力を挙げて闘う戦場でした。3 年生は 13 日から沖縄への修学旅行で平和学習に取り組みます。昨年の学校だよりでも触れましたが、沖縄戦末期、日本海軍沖縄根拠地隊の太田実司令官は最後の電報の中で、本来は沖縄県知事の仕事だが通信手段がないので自分が代わって報告すると述べ、沖縄戦における県民の功績を詳細に語り、末尾に「沖縄県民斯ク戦ヘリ　県民ニ対シ後世特別ノ御高配ヲ賜ランコトヲ(沖縄県民はこのように戦った。県民に対し、将来、特別のご配慮を頂けるようお願いする)」と記します。内務省（現在の総務省）から沖縄に派遣された島田叡知事は、敗色濃厚な沖縄への赴任を心配する周囲に「俺は死にたくないから誰か代わりに行って死んでくれとは言えん」と話し、着任後は県民のために軍との困難な交渉を重ねた「島守」として知られる人物です。私は、総務省出身の上司から、「任地を愛せ、家族を愛せ、仕事を愛せ」が旧内務省から総務省に引き継がれる言葉だと教えられましたが、その言葉通りの生き方をされたのでしょう。太田司令官と島田知事はとても仲が良かったと伝えられており、電文からもそれが感じ取れます。

最近、沖縄の海軍壕跡という戦跡近くの売店で売られていた太田司令官の電報をモチーフにしたＴシャツが戦争賛美という批判を受け、撤去されたという報道がありました。

亡くなった太田司令官と島田知事はこのニュースにどんな感想を持たれるのでしょうか。

６月の予定

2 日　全員喫食制学校給食開始
4 日　1 年生堺市学力調査
6 日　教育実習終了
13 日　3 年生修学旅行（～15 日　沖縄）
　　1 年生校外学習
17 日　2 年生校外学習
20 日　実技教科テスト
25 日　期末テスト（～27 日）
30 日　再試験日

大阪万博

現在開催中の万博については、「２０２５年大阪・関西万博への学校単位での招待事業」に基づき、１０月に全校生徒を引率して参加する予定でした。年度初め 4 月の段階で、堺市内全小中学校 141 校中 8 割近い学校が不参加を決めるなか、全校生徒 944 名の安全・安心な参加に向けて情報収集と企画立案に努めてまいりましたが、現時点で利用可能な唯一の交通手段である地下鉄遅延混雑時の対応、雨天時の昼食場所の確保、熱中症対策、悪天候時の退避場所等の課題を解決できる見込みが立たず、残念ながら校外学習としての参加を取り止めることといたしました。

代替措置として生徒個人単位の ID を取得し、ご家庭にお知らせすることとしておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ホームページのご案内

金岡南中学校ホームページを随時更新しています。次の URL または QR コードから最新の金岡南の姿をぜひご覧ください。（URL　https://www.sakai.ed.jp/weblog/index.php?id=sakai114 ）